

立命館大学スポーツマネジメントスクール

第3期＜2009年度＞

開講趣旨

2009年6月1日(月)

立命館大学イノベーションマネジメント研究センター／スポーツ総合研究所株式会社

社会的背景と開講趣旨

1) スポーツ産業の意義と可能性

わが国の経済が発展し、成熟段階に入り、「内需」と「ソフト」への傾斜を志向すべきであると、(古くは前川レポートにて)指摘されて既に久しい年月がたっています。そして、「失われた10年」と言われた1990年代の日本において、産業の生産性という点では、実は製造業においてそれほどの問題があったわけではなく、第三次産業の「サービス産業」における生産性が、先進国に比較して劣っていることも判明しています。以上の事実は、基本的に「内需志向」であり、「サービス産業」である「スポーツ産業」の今後の発展について、大きな潜在的可能性を示唆しているといえましょう。つまり、「スポーツ産業」を振興することは、わが国全体の経済にとって志向すべきパラダイムへの変換を促す現実的な契機となりうるのです。更に、「現状で生産性が低い」ことは、「今後の改善余地とその可能性が大いに現実的だ」ということでもあります。

また、スポーツ振興は「地域振興」につながることは今や常識となりつつあります。同時に日本人のライフスタイルは、可処分所得の伸びが抑えられながら、余暇時間(=可処分時間)が増える傾向にあり、余暇が「時間消費型」となることも明らかです。従って、「余暇の過ごし方」という要素が日本人の人生の豊かさを決める重要度を益々深めていくことは確実です。スポーツは「時間消費型」のソフトですから、スポーツ振興は今後の日本人の生活の豊かさを左右する重要な要素だといえましょう。

2) マネジメント・ナレッジの確立と人材育成

現状においてスポーツ産業の可能性が、潜在的なままで現実化していないのにはそれなりの理由があります。

魅力的な「スポーツという商品」が存在し、かつ有望な顧客が存在するならば、その産業育成・振興のためには、

1) 資本 2) 制度 3) ナレッジ／人材

の3つが必要不可欠です(このナレッジは、競技向上目的ではなく、ビジネス・マネジメントのナレッジであることは言うまでもありません)。

スポーツ・サービス産業が未発達なわが国の現状を鑑みれば、そのどれもが不十分ではないでしょうか。この3つの間には相互に原因と結果の関係が存在します。資本のあるところに人材は集まるでしょう。また、制度と人材が揃えば資本は集まるでしょう。これらの関係はいわば「鶏と卵」のようなものです。だとするとどれから先に着手すべきなのでしょう。現下の経済状況、あるいは問題解決に要する時間、コスト等を考えると、3)の「ナレッジ整理と人材の育成」から開始することが、最も現実的だと考えます。

3) 大学の役割

最近、「スポーツ産業」が就職先として魅力的であるという認識が高まりつつあります。「スポーツが産業の場である」と広く認識されたのは、04年のプロ野球の再編問題と、「東北楽天」という新規球団創設というできごとが大きかったと思われます。新球団の創設にあたって人材を募集したところ、「数週間で数千名が応募した」という事実は有名です。そしてこれに呼応するように、多くの大学が「スポーツ・ビジネス関連」の学科・コースを新設・拡充し、またそれらを志望する学生も激増しているというのが現状です。

ただ残念ながら現実には、我が国ではスポーツが学校体育として定着していた歴史が長く、産業として認識されたのは最近なので、「ビジネス・ナレッジ」の集積と体系化が未熟であることは否めません。そもそも現時点では、「スポーツ産業」自体の定義すらできていないのが現実です。当然ながら現時点では、大学を始めとする教育界に「スポーツ・ビジネス」を教育するナレッジもメソッドも未整備なままであり、どこもいわば「見切り発車」のままで、「スポーツビジネス教育」をスタートしてしまったのが現状ではないでしょうか。

上記の課題を解決し、優秀な人材をスポーツ産業界に供給することは、単にわが国の「スポーツ界」のみならず、「(人材育成のための)教育界」、更には「経済界」にとって焦眉の急であると思われます。

立命館大学スポーツマネジメントスクール 第3期<2009年度> 講師および講義スケジュール

2009年6月1日(月)

立命館大学イノベーションマネジメント研究センター／スポーツ総合研究所株式会社

| 担当 | 氏名 | 現職／スポーツに関する経歴 |
|------------|-------|--|
| 基調講演 | 種子田 穰 | 立命館大学経営学部教授／経営学部学部長 |
| コーディネーター 他 | 広瀬 一郎 | 多摩大学大学院 教授／スポーツ総合研究所(株) 所長／スポーツビジネスコンサルタント |
| 経営戦略論 | 山本 真司 | バイン・アンド・カンパニー・ジャパン シニア・パートナー |
| ターンアラウンド | 小寺 昇二 | 元(株)千葉ロッテマリーンズ 経営企画室長 |
| 戦略的人事論 | 本間 浩輔 | 多摩大学大学院 客員准教授／ワイズスポーツ(株) 取締役／元(株)野村総合研究所 コンサルタント |
| 会計・経理・税務 | 猪股 宏之 | 猪股会計事務所 公認会計士／税理士／FP |
| 法務 1 | 升本 喜郎 | TMI総合法律事務所 パートナー弁護士／(財)日本ラグビーフットボール協会法務委員会委員 |
| 法務 2 | 石渡 進介 | ヴァスコダガマ法律会計事務所 弁護士／日本プロ野球選手会顧問弁護士 |
| 顧客の把握とCRM | 池田 健一 | (株)La Bandiera dello Sport 代表取締役／スポーツ総合研究所(株) デイレクター |
| セイバートリクス | 森本 美行 | データスタジアム(株) 代表取締役社長 |
| 広報と危機管理 | 北嶋 良亮 | (株)電通パブリックリレーションズ リスクコンサルティング部 部長 |
| 自治体を知る | 間野 義之 | 早稲田大学スポーツ科学学術院 スポーツ政策論 准教授／元(株)三菱総合研究所 研究員 |

講義スケジュール

※ 2009年6月1日現在
※カリキュラム／講師などは予告なく変更になる場合がございます。

| 回数 | 日程 | 講義内容 | 講師 |
|------|-----------|--|-------|
| 第1回 | 9月28日(月) | オリエンテーション／SMSのビジョンと方針「なぜマネジメントか?」「スポーツマンシップ」 | 広瀬 一郎 |
| 第2回 | 10月 5日(月) | 基調講演 | 種子田 穰 |
| 第3回 | 10月19日(月) | 「リーグ産業の構造／特質／リスク」「ステークホルダーと戦略」 | 広瀬 一郎 |
| 第4回 | 10月26日(月) | コミュニケーション論 | 広瀬 一郎 |
| 第5回 | 11月 2日(月) | 経営戦略論 | 山本 真司 |
| 第6回 | 11月 9日(月) | 人事戦略 | 本間 浩輔 |
| 第7回 | 11月16日(月) | ターンアラウンド | 小寺 昇二 |
| 第8回 | 11月30日(月) | クラブの会計・経理・税務／選手マネジメント(税務と資産形成) | 猪股 宏之 |
| 第9回 | 12月 7日(月) | 法務1 -団体規定と選手契約関連法務- | 升本 喜郎 |
| 第10回 | 12月14日(月) | 法務2 -スポーツライセンス関連法務- | 石渡 進介 |
| 第11回 | 12月21日(月) | スポーツマーケティング | 広瀬 一郎 |
| 第12回 | 1月18日(月) | 顧客の把握とCRM | 池田 健一 |
| 第13回 | 1月25日(月) | 「データを利用した選手の評価」(スポーツマネジメントの現場) | 森本 美行 |
| 第14回 | 2月 1日(月) | 広報と危機管理 | 北嶋 良亮 |
| 第15回 | 2月 8日(月) | 自治体を知る | 間野 義之 |
| 第16回 | 2月15日(月) | 総論／まとめ | 広瀬 一郎 |

